

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL：(0575)24-7332 FAX：(0575)23-5278
会長 森 敬 副会長 川上 勉 幹事 石原 妙生 クラブ会報委員長 後藤 政之

2023～2024 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦から生まれる奉仕の心、

奉仕から広がる友情の輪、

そして共に成長し合おう」



世界に希望を生み出そう

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2114回例会 2023年9月8日(金) 担当/会長・幹事
ガバナー公式訪問 3RC合同例会 美濃・関・関中央RC 場所：美濃緑風荘

前例会の記録 第2113回 2023年8月31日(木)
会員卓話 林 剛司 会員 テーマ「自己紹介」
担当：ニコボックス委員会

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*会長あいさつ 森 敬 会長

本日のプログラムは会員卓話です。
林剛司会員の自己紹介です。楽しみにしていますので、宜しくお願い致します。さて私事ですが、先週わが家の長男に子供が生まれました。女の子でしたが、これで3人娘の3姉妹となりました。わが家は4人の子供がおりましたが、息子3人に娘1人で圧倒的に男家族でしたので3姉妹となると未知の世界でどう接すればよいか戸惑っています。それでも、まずは3人の子供を産んでくれた息子夫婦に感謝しています。少子化が進む中で2人の親から3人の子供が生まれたのですから、プラス1人となります。当クラブに照らし合わせると、今年度2名の退会者、1名の入会がありマイナス1名でのスタートとなりま



した。何とか今期中に2名の新入会員を追加してプラス1名で来年度に引継ぎしたいと思います。皆様、ご協力のほど宜しくお願い致します。前例会は会員基盤増強維持委員会のプログラムでオープン例会を開催いたしました。とても素晴らしい例会であったと思います。新規入会候補者となる若手経営者、または後継者に10名参加いただきました。和気あいあいと楽しく歓談できました。これをきっかけに是非皆様で声掛けをして入会して頂きましょう。この新規入会者を募るのが会員増強の「増」であります。そして、会員増強の「強」は退会者を防止するクラブ強化となります。具体的にはロータリーの基本である例会の充実が望ましいと思います。本日のような会員卓話は最も重要であり会員全員が出席して欲しいです。会員卓話を聞くことで、会員同士の理解が深まり結束も強くなると思います。そして、その会員同士の団結がより大きな力となり社会貢献や社会奉仕ができると思います。何より会員同士の結束、友情が退会者の防止になると思いま

す。本日は2つのお願いをしました。会員増強の「増」、新規入会者を増やすこと。そして会員増強の「強」、クラブ強化、例会の充実をはかり退会者の防止をすること。この2つをお願いして本日の会長の挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

*会員卓話 林 剛司 会員

テーマ「自己紹介」

諦めない心

～成功するまでやり続ける～

【経歴】

・1999年3月

県立岐阜商業高等学校 卒業

・2002年3月

日本福祉大学 経済学部 卒業

・2002年4月 (株) 京都吉兆 入社

・2007年12月 関観光ホテル(株) 入社

・2013年4月 (株) サン・ストラッセ 入社

・2021年2月 (株) サン・ストラッセ 退社

・2021年2月 おもてなしオーケストラ(株) 入社

① 幼少時代

岐阜市柳ヶ瀬の小柳町で生まれました。父親が柳ヶ瀬で「海から来た男」という小料理屋をやっており、祖父が関で「篝火荘」という旅館をやっていました。その旅館が火事で燃えて建て直したのがこの関観光ホテルです。両親は1日中仕事だったため、小学校5年生の時、帰宅して置いてある千円札を握りしめて吉野家やマクドナルドへ行き、1人で夕食を食べていた思い出があります。

② ターニングポイント

～県岐阜商 野球部の高校時代～

1年から3年まで3年連続甲子園に行った代で、とても運が良かったと思います。県岐阜商のエースでしたが、小中から良い選手だったわけではありません。PL 学園のKK コンビをテレビで見て甲子園に憧れ、野球を始めました。地元の少年団に入り、中学でも野球部に入部しました。そこでエースの4番でしたが、実はそのチームは練習試合も公式戦も一度も勝ったことがない弱小チームでした。当時の私は皆が下手だからといつもまわりのせいにし、県岐阜商へ行けばエースの4番を絶対に取れると思っているような勘違い野郎でした。ところが、高校に入学



して同級生の体つきやレベルの違いに驚き、自分は1週間持たないんじゃないかと思いました。当時は、選手として見込みのない部員はマネージャーやコーチをさせられ、同級生30名のうち最後に残ったのは15名でした。当初、同級生が玉拾いをしている中で自分だけ監督の脇に立ち、監督から命じられるとコンビニに買い出しに行くというパシリ生活をしていました。監督に、自分だけグラウンドに入れない理由を聞いたところ「お前みたいな骨川筋夫、グラウンドに入れたら倒れる！55キロの体重を80キロに増やしたら入れてやる！」と言われました。次の日から1日6食、プロテインを飲んで筋トレをするという生活をし、4ヶ月で25キロ増やしました。体脂肪率は7%でした。それでやっと球拾いにまで出世することができました。次にピッチャー陣20名に入るためにやったことが監督への手紙です。内容はただ一文「ピッチャーをさせてください。」半年間、監督に手紙を渡し続けました。1月下旬の紅白戦、監督から「次の回、3人に抑えたらピッチャー陣に入れてやる。」と言われ、3人で抑えてピッチャー陣に入ることができました。2年生の夏から3番手としてベンチ入りし、エースがピンチになると私が出てワンポイントで抑えるというのが当時の役割でした。2年生の秋にエースになり分かったことは、追われることの辛さです。ライバルのピッチャー陣20何名が後ろから追ってきます。誰よりも練習して結果を出さないとエースナンバーを取られてしまいます。怪我があっても熱があってもマウンドに立ち続けます。腰が痛い時は、座薬を入れて試合で投げていました。何かを成し遂げるには仲間やチームを大切にしなければいけないと思います。自分の夢を犠牲にしてコーチやマネージャーとして私達を支えてくれた仲間を大切にこそ良いチームが出来るということを学びました。

③ 京都吉兆時代

～船場吉兆ではないですよ～

日本福祉大学で1年生からエースで投げていました。2年生の7月、ピッチャー返しが右目に当たり失明しました。それを機に野球をやめて、割烹料理屋でバイトを始めました。始めは料理への興味はありませんでしたが、そのうち料理の楽しさに気づき、大学を出たら板前になろうと思うようになりまし

た。まわりの人から、日本料理の修行をするには京都がよい、京都で一番のお店は吉兆だと言われました。ある時、アポなしで嵐山の京都吉兆の門をくぐり、「修行をしたい。」とお願いしたところ、ちょうど今の社長がみえて面接を経て入社することができました。京都吉兆では毎朝4時半出勤、終わりは夜12時です。早朝から、トイレ掃除や玄関掃除など、料理をやりたいのになぜこんなことを…と思いつながら我慢だと思ってやっていました。大学を卒業して22才で京都吉兆に入りました。先輩の中には中卒上がりの16歳、高卒上がりの19歳。16歳の子に「お前なめとんのか。」と言われたりしました。六畳の部屋で16歳と19歳の子と3人、1年を過ごしました。ある時、料理の盛り付けを手伝わされた際、正しい箸の持ち方をしていなかったため、かぼちやの煮物がうまく掴めず崩れてしまいました。別室へ連れていかれ、大量の米粒を箸で1粒1粒掴む練習をさせられました。正しい箸の持ち方でないと米粒を掴むことが出来ません。延々と8時間、練習をしているうちに正しい箸の持ち方が出来るようになり米粒を手早く掴めるようになりました。京都吉兆のおせちの売り上げが1日3億という日もありました。芸能人や政治家の方たちがたくさんおみえになられ、映画「ラストサムライ」の撮影場所になったこともあります。また、祇園にあるお茶屋に仕出しを持っていきおもてなしをするなど、刺激的な毎日でした。一番印象に残っているお客様は細木数子さんです。毎月一度来店し、75,000円のフグの白子のフルコースを召し上がってみえました。5年半が経ち、入社当時は同期45人いましたが残ったのは3人のみでした。4年目からは料理長の横で勉強することもでき貴重な時間を過ごしました。厳しい世界でしたが、県岐商野球部での経験があったからこそ耐えることが出来たのだと思います。

④ マーゴ (株) サン・ストラッセ時代

～関市にドン・キホーテ誘致成功～

マーゴ本部に9年勤め、マーゴウエストの責任者としてテナント誘致と開発の仕事をしました。始めはニトリとしまむらが決まっていたのですが、しまむらではインパクトがないためドン・キホーテを呼びたいと役員会で提案しました。役員に「出来るわけがない。」と言われましたが、ドン・キホーテの本店

に行きました。案の定、門前払いでした。そこでやったことは、ファックスを毎日送り続けることです。半年間毎日送り続けたところ、先方から連絡がきて出店に繋げることができました。ドン・キホーテが決まったことで、スシロー、サガミなどの出店が決まっていきました。先方の担当と繋がるために考え諦めずにやったことが結果につながったのだと思います。マーゴに骨を埋めるつもりでしたが、関観光ホテルを引継ぐ話があり広瀬会長から背中を押していただき、ホテルをやることとなりました。やるからにはお客様、スタッフ、取引業者などのお役に立てるよう諦めない心、成長、成功するまでやり続けることを忘れずに、今後もやっていくので応援よろしくお願いいたします。

*閉会のあいさつ

*出席委員会

会員数28名、本日の出席16名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

本日のプログラム、ニコボックス委員会、会員卓話、林君御苦勞様です。楽しみにしています。

・前田 仁夫 会員

先週のオープン例会でご参加の会員の皆様、お疲れ様でした。若い新入会員予定の皆様にも、早く心よく入会していただくと関中央RCも一段とにぎやかになることでしょう！！

・古田 博文 会員

林会員、本日の卓話どうぞよろしくお願いいたします。

・高井 良祐 会員

今日は次女の30才の誕生日でした。忘れていました。LINEしたところですよ。

・林 剛司 会員

本日、卓話という貴重なお時間をいただきありがとうございます！よろしくお願いいたします。

<次例会の案内>

第2115回 2023年9月16日(土) AM9時30分

農業体験事業 稲刈り体験

場 所：関市小迫間 (小川精器製作所前)